

事務事業名		簡易水道施設災害復旧費		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																										
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 23 年度 ～ 26 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																										
	施策名	良好な生活空間の創造																												
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備																												
根拠法令		水道法、大船渡市簡易水道条例		予算科目 会計 16 款 03 項 01 目 00																										
所属	部課名	都市整備部 簡易水道事業所																												
	課長名	中井 吉隆																												
	係名	簡易水道係	電話 0192-27-3111																											
	担当者	亙理 義政	内線 205																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 東日本大震災で被災した施設等の復旧業務。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="8">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>26,200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>127,469</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計 (A)</td> <td>153,669</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>3,736</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>14,944</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>168,613</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債	26,200	その他	127,469	一般財源		事業費計 (A)		153,669	人件費	正規職員従事人数	1	延べ業務時間	3,736	人件費計 (B)	14,944	トータルコスト(A)+(B)		168,613
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債	26,200																											
		その他	127,469																											
		一般財源																												
	事業費計 (A)		153,669																											
	人件費	正規職員従事人数	1																											
		延べ業務時間	3,736																											
人件費計 (B)		14,944																												
トータルコスト(A)+(B)		168,613																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																				
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 破損管の修繕等 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 破損管の修繕等			⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>復旧が必要な箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						名称		単位	ア	復旧が必要な箇所	箇所	イ			ウ		
			名称		単位															
			ア	復旧が必要な箇所	箇所															
イ																				
ウ																				
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 簡易水道施設等			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>給水区域面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>計画1日最大給水量</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td>計画給水人口</td> <td>人</td> </tr> </table>						名称		単位	カ	給水区域面積	ha	キ	計画1日最大給水量	m ³	ク	計画給水人口	人
			名称		単位															
			カ	給水区域面積	ha															
キ	計画1日最大給水量	m ³																		
ク	計画給水人口	人																		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 東日本大震災で被災した施設等の復旧を行う。			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ</td> <td>有収率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						名称		単位	サ	有収率	%	シ			ス		
			名称		単位															
			サ	有収率	%															
シ																				
ス																				
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全な水道水を安定して供給できる。																				
(2) 総事業費・指標等の推移																				
			単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)										
投入量	事業費	国庫支出金	千円																	
		都道府県支出金	千円																	
		地方債	千円	20,100	4,700	300	1,100													
		その他	千円	91,857	28,795	2,912	3,905													
		一般財源	千円																	
	事業費計 (A)		千円	111,957	33,495	3,212	5,005	0	0											
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1													
		延べ業務時間	時間	2,400	1,000	216	120													
		人件費計 (B)	千円	9,600	4,000	864	480	0	0											
		トータルコスト(A)+(B)		千円	121,557	37,495	4,076	5,485	0	0										
⑤活動指標		ア	箇所	87	22	9	5													
		イ																		
		ウ																		
⑥対象指標		カ	ha	10.6	10.6	10.6	10.6													
		キ	m ³	3,479	3,479	3,479	3,479													
		ク	人	7,918	7,918	7,918	7,918													
⑦成果指標		サ	%	47.1	59.7	70.6	71.3													
		シ																		
		ス																		

事務事業ID	1495	事務事業名	簡易水道施設災害復旧費
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
東日本大震災により被災した施設等を復旧するため、平成23年度から事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
中央監視室(テレメータ)の復旧により、異常の早期発見ができるようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
早期の復旧。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 簡易水道施設等の復旧をすることで、安定的に水を供給することができるようになり、快適な生活環境となる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 上水道の整備は水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 既存施設等の復旧であり、拡大・縮小の余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 既存施設等を復旧する事業であり、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事業を廃止・休止すれば、安全で安心な水の供給ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業は他にはなく、ライフラインに関わる極めて公共性の高い事業であるため、現状では他の方法は考えられない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 漏水調査は自前で行っており削減の余地はない。また、災害復旧工事は工法に限られるため削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 施設復旧に必要な設計業務等は専門業者への委託で対応している。それ以外の工事発注、管理・監督業務は市の必要最小限の担当者で対応していることから削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 簡易水道使用者からは給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。

事務事業ID	1495	事務事業名	簡易水道施設災害復旧費
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 主要な施設の早期復旧に努めた結果、有収率が徐々に回復してきた。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 震災前の有収率まで回復していないことから、漏水箇所を発見し復旧させる必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	簡易水道事業所長	中井 吉隆

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 施設の早期復旧に努め、徐々に有収率の回復が図られている。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 震災による破損した埋設管等の調査・復旧を継続し、一層の有収率回復に努める必要がある。																					
		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
--